

令和4年度 青森市第三セクター経営評価シート

評価区分	法人名、市所管部（課）名	評価者の役職・氏名
第一次評価	株式会社 アップルヒル	代表取締役社長 佐藤 文一
第二次評価	浪岡振興部 地域づくり振興課	浪岡振興部長 三浦 大延

I 経営評価表

◎基本的視点1：公共性・公益性の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	目的適合性（設立目的の検証、事業主体の妥当性、事業の必要性、市施策への貢献度）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年通りではなかったものの、会社設立の目的に適合した以下の事業を展開している。 1）地産地消に向け、地域特産品の販売や地元食材を活用した料理を提供している。 2）地域情報の発信、地域活性化を図るイベントの実施、体験学習や社会教育活動の場を提供している。 3）道の駅として、トイレ、駐車場、休憩施設の無料提供など公共サービスの確保に努めている。	新型コロナウイルス感染症拡大の制限下においても、継続して地域の農業振興に寄与しているとともに、感染防止対策を講じてのイベント開催や体験学習の実施など、地域の活性化、公益的事業に取り組んでおり、市の施策への貢献度も高い。
今後の 取組方針	1）農業振興、地域振興を図る市の各種施策と積極的に連携し、公益的事業を継続的に実施する。 2）県内外の道の駅のほか、農業・観光・商工関係団体、教育機関等との交流・連携を更に強化し、地域の活性化に繋げていく。	今後も公益性を担保しながら、農業・観光・地域の振興に資する事業に積極的に取り組んでいただきたい。

◎基本的視点2：効果的・効率的な事業の視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	効率性・効果性（事業実施手法等の見直し、経費の見直し）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	社内定例会議において、毎月の収益状況や利用者の苦情・要望について情報共有し、改善対策を実施している。 令和3年度においては、前年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設来場者数、売上高が落ち込む中、好調なふるさと納税返礼品の更なる充実化に取り組むほか、販路拡大に向けダイレクトメールによるりんごやりんごジュースのPRを行うなど、状況に応じた効果的、効果的な対策を講じた。	毎月の収益状況や「お客様の声」の把握、社内の情報共有に努め、実施事業の見直しに取り組んでおり、コロナ禍に対応した、商品のオンライン販売やダイレクトメールによるPRなど、事業の効果と効率性の向上を図っている。
今後の 取組方針	1）利用者のニーズを把握しつつ、実施事業の見直し、新規事業の開催など積極的に進めたい。 2）経費の見直しについては、事業の見直しの結果により不要な経費を削減するだけでなく、ニーズの高い事業には積極的に投資することで、全体としての費用対効果を更に高めていく。	引き続き、利用者ニーズの把握と検証に努めながら、事業の効果と効率性を高められるよう、積極的に取り組んでいただきたい。

令和4年度 青森市第三セクター経営評価シート

◎基本的視点3：独立した経営体としての視点

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	組織運営の健全性（経営マネジメントの検証、個人情報保護の保護、再委託の見直し）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	1）社内定例会議において、PDCAサイクルによる事業の検証及び改善方策を整理するとともに、定期及び必要の都度開催する取締役会において事業の報告及び今後の経営マネジメントについて協議し、意思決定している。 2）組織運営に必要な各種規程を策定しており、個人情報については、個人情報保護規程に基づき、適切に管理している。 3）再委託については、専門性を要する業務や費用対効果が得られる業務を対象に実施している。	社内定例会議や取締役会において、都度、経営状況の検証及び状況に応じた改善を進めている。 個人情報保護のほか組織運営に必要な規程が整備されており、また、再委託についても適正に実施されている。
今後の 取組方針	経営マネジメントの検証や各種規程、再委託業務について、健全な組織運営のために、必要に応じて見直しをしていく。	引き続き、社内、市、取締役会における情報共有に努めるとともに、計画に対する事業の進捗管理、既存事業の検証・改善を図りながら、健全な組織運営に努めていただきたい。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	財務の健全性（財務環境、資産運用の適正性、財務諸表の適正性）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	令和3年度は、前年度以上に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、来場者数、売上高ともに減少したが、社員一丸となって取り組んだ経費節減の徹底や国の雇用調整助成金等の積極的な活用などにより、辛うじて1,293千円の黒字を達成できた。	観光産業が低迷する状況下において、令和3年度は、単年度赤字も想定されるところであったが、従前よりは少ないながらも黒字を達成できたことは非常に評価できる。 利益剰余金は年々増加しており、自己資本比率・流動比率が高く、また、借入金も無いことから、財務環境は健全であり安定している。
今後の 取組方針	いまだに新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないが、この2年間の経験を活かし、状況に応じた柔軟な対応に努めていく。	引き続き、健全な財務環境を維持できるよう取り組んでいただきたい。

令和4年度 青森市第三セクター経営評価シート

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	透明性（情報公開に関する取組）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	当社ホームページにおいて、財務に関する情報のほか、以下の情報を公開している。 ・経営戦略プラン ・決算報告書 ・事業報告書 ・青森市第三セクター経営状況基本情報シート ・定款 ・監査報告書 ・個別注記表 ・モニタリング評価結果 ・事業報告書等評価結果 ・個人情報保護規程 ・情報公開規程	財務に関する情報のほか、青森市第三セクター経営状況基本情報シートや監査報告書などを同社のホームページ上で公開しており、情報公開に対して、積極的に取り組んでいる。
今後の 取組方針	今後とも積極的な情報公開に努める。	引き続き、積極的な情報公開に努めていただきたい。

	第一次評価（法人の見解・意見等）	第二次評価（市所管部の見解・意見等）
評価項目	自立性（経営に対する市の関与）	
評価結果	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する	☒ 概ね良好 ☐ 改善の余地あり ☐ 大いに改善を要する
評価理由 又は 経営上の 課題等	令和3年度決算において、74,495千円の利益剰余金を計上しており、自己資本比率は、75.6%と高い水準を維持している。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上でのイベント開催や道草庵における夕方限定メニューの開発など、自らの創意工夫による誘客促進、マーケティング（販売戦略）で自主財源の確保に努めている。 また、市からの収入は施設の指定管理料のみであり、営業収益における割合が1.59%と低く、自立した経営が行われている。
今後の 取組方針	今後とも財源を他に依存することなく、自主財源の確保、拡充に努めていく。	引き続き、自主財源の確保に努めながら、自立した経営を行っていただきたい。

Ⅱ 法人の今後のあり方に関する取組状況

〔「青森市第三セクターに関する基本方針（平成22年10月）」に掲げた取組予定及び「青森市第三セクターの経営評価指針」（令和2年4月改訂）に記載している「経営戦略プラン」の策定等〕

作 業 事 項	実施主体	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度以降
経営戦略プラン（平成26～28年度）の実施	法人	●	—	—	—	▶			
経営戦略プラン（平成29～令和元年度）の策定、公表	法人			○					
経営戦略プラン（平成29～令和元年度）の実施	法人				●	—	—	—	▶
経営戦略プラン（令和2～4年度）の策定、公表	法人						○		
経営戦略プラン（令和2～4年度）の実施	法人							●	—
財務環境の注視	市・法人	財務環境の注視							

〔取組実績・進捗評価〕

主体	取 組 実 績（取 組 内 容）	進捗評価							
		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度
法人	経営戦略プランの実施（平成26～28年度）	○	○	◎					
	経営戦略プランの策定（平成29～令和元年度）			◎					
	経営戦略プランの実施（平成29～令和元年度）				○	○	◎		
	経営戦略プランの策定（令和2～4年度）						◎		
	経営戦略プランの実施（令和2～4年度）							○	○
	財務環境の注視	○	○	○	○	○	○	○	○
市	財務環境の注視	○	○	○	○	○	○	○	○

【進捗評価凡例】

- ◎：予定どおり実施し終了した
- ：実施中（着手済み）ではあるが、概ね予定どおりに進んでいる
- △：実施中（着手済み）ではあるが、予定についての取組みがあまりできていない
- ×：取組んでいない（未実施・未着手）

〔進捗評価が「△」「×」の場合〕

法人コメント	市所管部コメント

Ⅲ 付属資料（経営評価に当たっての点検項目）

① 点検結果〔総括〕

経営評価に当たっての 基本的視点	評価項目	点検 項目数	第一次点検結果 (法人点検)	第二次点検結果 (市所管部点検)
1 公共性・公益性の視点	目的適合性	4	◎ : 4 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 4 個 ○ : 0 個 × : 0 個
2 効果的・効率的な事業の視点	効率性・効果性	6	◎ : 3 個 ○ : 3 個 × : 0 個	◎ : 3 個 ○ : 3 個 × : 0 個
3 独立した経営体としての視点	組織運営の健全性	17	◎ : 16 個 ○ : 1 個 × : 0 個	◎ : 16 個 ○ : 1 個 × : 0 個
	財務の健全性	10	◎ : 10 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 10 個 ○ : 0 個 × : 0 個
	透明性	5	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 5 個 ○ : 0 個 × : 0 個
	自立性	7	◎ : 7 個 ○ : 0 個 × : 0 個	◎ : 7 個 ○ : 0 個 × : 0 個
合 計		49	◎ : 45 個 ○ : 4 個 × : 0 個	◎ : 45 個 ○ : 4 個 × : 0 個

点検結果の凡例

- ◎ : 妥当である、良好である、対応している、取り組んでいる など
 ○ : 概ね妥当である、概ね良好である、改善の余地がある、一定程度取り組んでいる など
 × : 改善を要する、非常に悪い、不十分であり改善を要する、取り組んでいない など

② 点検表

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果						
		第一次 点検		第二次 点検				
		前年	今年	前年	今年			
評価項目	(1) 目的適合性							
(ア) 設立目的の検証								
① 設立目的（公益目的・役割）は、現在の社会経済状況に合致しているか（希薄化していないか）	※「×」の場合はその理由を記載							
					◎	◎	◎	◎
◎：すべて合致している（希薄化していない） ×：一部合致していない部分がある（一部希薄化した）								
(イ) 事業主体の妥当性								
② 法人の実施する公益的事業が他の団体（NPO、民間事業者、他第三セクターなど）と競合していないか	※選択理由を記載							
	浪岡地区において、地元特産品のPR及び地産地消の推進、地域情報や観光情報の発信、りんごを中心に地域資源を活用したイベントの実施、校外学習やインターンシップの受入れ等、他の団体とも連携を図りながら、地域振興に資する公益的事業を幅広く展開している。				◎	◎	◎	◎
◎：競合していない、または競合しているが、合理的理由により差別化できる ○：合理的理由はないが、代替は困難である ×：競合しており、代替は比較的容易である								
(ウ) 事業の必要性								
③ 法人の実施している公益的事業に対する市民ニーズは低下していないか	主な点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度				
	校外学習の受入れ（人）	1,092	528	672	◎	◎	◎	◎
	中学生職場体験学習受入れ（人）	6	0	0				
	高等学校インターンシップ受入れ（人）	16	5	0				
◎：市民ニーズは非常に高い ○：市民ニーズは概ね高い ×：市民ニーズは低下している、または市民ニーズを把握していない								
(エ) 市施策への貢献度								
④ 第三セクターとして積極的に公益的事業の展開に取り組んでいるか	※主な取組内容等を記載							
	・情報発信事業 ・イベント開催事業 ・地域特産物の県内外催事販売・PR活動事業 ・校外学習受入れ事業 ・中学校職場体験学習受入れ事業 ・高等学校インターンシップ受入れ事業				◎	◎	◎	◎
◎：十分（市の期待以上）取り組んでいる ○：概ね（市の期待どおり）取り組んでいる ×：取り組みが不十分である								

目的適合性 点検結果計（点検項目数：4項目）	◎	4	4	4	4
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等						点検結果			
						第一次 点検		第二次 点検	
						前年	今年	前年	今年
評価項目	(2) : 効率性・効果性								
(ア) 効率性の検証									
① 販売・一般管理費比率は適正か【地方公社・会社 法法人】	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	○	○	○	○	
	販売・一般管理費比率 (%)	42.7	47.1	49.0					
	<合理的理由>								
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、営業収益の落ち込みによる比率の上昇はやむを得ない状況である。								
◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない ー： (評価対象外)									
① 管理費比率は適正か【公益法人】	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度					
	管理費比率 (%)								
	<合理的理由>								
◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない ー： (評価対象外)									
② 人件費比率は適正か	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	○	○	○	○	
	人件費比率 (%)	25.1	29.6	29.2					
	<合理的理由>								
	営業収益の減少を踏まえ、経費節減を徹底したものの、固定費である人件費の削減には限度があり、比率の上昇はやむを得ない状況である。								
◎： 横ばい、または低くなっている ○： 上昇傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 上昇傾向にあり、適正でない									
③ 職員1人当たりの収益高	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	○	○	○	○	
	職員1人当たりの収益高 (千円)	14,917	11,137	11,034					
	<合理的理由>								
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、営業収益の落ち込みによる収益高の低下はやむを得ない状況である。								
◎： 横ばい、または上昇傾向にある ○： 低下傾向にあるが、合理的な理由がある ×： 低下傾向にあり、適正でない									
(イ) 効果性の検証									
④ 市民ニーズの把握に努めているか	※取組事例等を記載				◎	◎	◎	◎	
	施設内への意見箱の設置やホームページ、SNSの活用、アンケートの実施により、利用者の苦情や要望の把握に努め、回覧により社員に周知し、社内定例会議において改善策を講じている。								
	◎： あらゆる機会をとらえ、積極的に調査を行い、把握に努めている ○： 十分ではないが、必要に応じ把握に努めている ×： 不十分であり改善を要する								

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
⑤ 事業毎に定量的な目標数値を設定し、達成状況を評価・分析しているか					
◎： すべての事業に定量的な目標を設定し、評価・分析している ○： 一部の事業のみに定量的な目標を設定し、評価・分析している ×： ほとんど目標を設定していない、または評価・分析していない		◎	◎	◎	◎
⑥ 事業遂行の効率性向上のため、毎年度事業内容、事業費及び事務処理上の問題 点の把握や原因分析を行い、改善を図っているか					
◎： 毎年度検証し、積極的に改善・見直しに努めている ○： 毎年度検証していないが、必要に応じて改善・見直しに努めている ×： ほとんど検証していない		◎	◎	◎	◎

効率性・効果性 点検結果計（点検項目：6項目）	◎	3	3	3	3
	○	3	3	3	3
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
評価項目	(3) 組織運営の健全性				
(ア) 経営マネジメントの検証					
① 意思決定機関である理事会（取締役会）を適正に開催しているか					
☐ ： 定期に加え、必要の都度機動的に開催している ☐ ： 定期的な開催のみにとどまっている ☐ ： ほとんど開催していない		◎	◎	◎	◎
② 役員報酬・退職金に関する規程を整備し、公表しているか					
☐ ： 規程等を整備し、公表している ☐ ： 規程等を整備しているが公表していない ☐ ： 策定（検討）中、または策定予定なし		◎	◎	◎	◎
③ 経営に関する方針や計画を策定しており（明らかにされており）、全職員に周知しているか					
☐ ： 策定されており、全職員（社員）に周知徹底している ☐ ： 策定されていない、または策定しているが一部の職員しか把握していない		◎	◎	◎	◎
④ 経営目標数値を設定する際は、組織構成員が責任をもって参画するとともに、目標を達成するために必要な業務遂行上の権限・責任の明確化を図っているか					
☐ ： 規程等により権限・責任とも明確になっている ☐ ： 規程等により権限のみ明確になっている ☐ ： 明確になっていない		◎	◎	◎	◎
⑤ 外部経営環境（社会経済動向・同業他法人の経営活動など）の変化に留意し、経営目標数値と実績を比較、分析して、その結果に応じて改善策や計画を見直すシステム（PDCAマネジメントサイクル）を確立しているか					
☐ ： システムが確立され、かつ十分機能している ☐ ： システムは確立されているが、改善の余地がある ☐ ： システムが確立されていない		◎	◎	◎	◎
⑥ 内部統制に関する各種規程等（就業規則、職務分掌規程、決裁規程など）が整備され、かつ定期的に見直しているか					
☐ ： 各種規程等が整備され、毎年度検証している ☐ ： 各種規程等を整備しているが、毎年度検証していない ☐ ： 各種規程等が不十分である、またはほとんど見直ししていない		◎	◎	◎	◎
⑦ 法人内部の不正や不規則を発見し、また未然に防ぐことを目的に、内部監査（当該業務担当者以外の者による相互監査）を定期的の実施しているか					
☐ ： 実施要綱等を整備し、毎年度実施している ☐ ： 実施要綱等は整備していないが、毎年度実施している ☐ ： 実施していない		◎	◎	◎	◎
⑧ 財務や会計等に関する規則等に則った事務を行っているか。また、定期的なチェックを実施しているか。					
☐ ： 規則等に則った事務を行っており、定期的なチェックを実施している。 ☐ ： 規則等に則った事務を行っているが、定期的なチェックは実施していない。 ☐ ： 規則等に則った事務を行っていない。		◎	◎	◎	◎
⑨ コンプライアンス（法令順守）に関する取組を実施しているか（下記の該当項目を□→■）					
☒ コンプライアンスに関する内容を規定している ☐ ルールブックやマニュアルを作成し職員に配布する等周知を図っている ☒ 職員に対する啓発等研修の場を設定している ☒ 業務監査体制を強化する体制整備や取組みを行っている ☐ その他、コンプライアンス経営を充実するための取組みを行っている []		◎	◎	◎	◎
☐ ： 3項目以上 ☐ ： 2～1項目 ☐ ： 0項目					

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果				
					第一次 点検		第二次 点検		
					前年	今年	前年	今年	
⑩	階層別研修、専門研修及び自己啓発研修などの職員の資質向上並びに優秀な人材の確保を図るための研修を計画的に実施しているか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 人材育成計画にもとづき、計画的に研修を実施している								
	○： 人材育成計画は策定していないが、必要な研修を計画的に実施している								
	×： 計画的に研修が行われていない、または研修内容が十分とは言えない								
⑪	経営状況、事業内容等を勘案した職員給与制度に関する規程を整備し、適正に運用しているか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 法人独自の給与規程を整備し、適正に運用している								
	○： 市給与体系を一部準用した規程を整備し、適正に運用している								
	×： 規程がない、または市給与体系を全部準用した規程を整備している								
⑫	職員の能力や実績を適正に評価し処遇や給与などに反映させる人事評価制度・給与制度を導入し、適正に運用しているか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 人事・給与制度を整備し、適正に運用している								
	○： 整備（検討）中、または各制度はあるが十分機能していない								
	×： 整備予定なし								
⑬	業務内容、業務量に応じた組織機構の見直し（課・係の再編成、事務分掌の変更等）に取り組んでいるか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 毎年度検証し、必要に応じて見直しをしている								
	×： ほとんど見直ししていない								
(イ) 個人情報の保護									
⑭	個人情報の保護に関する規程等を整備し、公表しているか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 規程等を整備し、公表している								
	○： 規程等を整備しているが公表していない								
	×： 策定（検討）中、又は策定予定なし								
(ウ) 再委託の見直し									
⑮	受託事業の再委託比率が50％を超えていないか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎
		再委託比率（％）	25.0	30.6	31.4				
		<合理的理由>							
		◎： 再委託はない、または再委託比率は50％を超えていない ○： 50％を超えているが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 50％を超えており、合理的理由がない							
⑯	受託事業の再委託比率が高まっているか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	○	○	○	○
		再委託比率（％）	25.0	30.6	31.4				
		<合理的理由> 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一部施設（物販、レストラン、情報交流室）の休館、来場者数の減少に伴い、光熱水費（直接経費）が減少した一方、設備保守点検、トイレ清掃、除排雪等の再委託業務は通常通り実施する必要がある、その結果、比率が上昇したものである。							
		◎： 再委託はない、再委託比率は低下している、または横ばいである ○： 上昇傾向にあるが、特殊な事情があるなど合理的理由がある ×： 上昇しており、合理的理由がない							
⑰	受託事業の再委託にあたっては、外部委託基準（ルール）等を整備するとともに、コスト低減のために入札方式や契約方法を工夫するよう努めているか				◎	◎	◎	◎	
	◎： 再委託はない、または基準等を整備し、コスト低減に努めている								
	○： 基準等は整備していないが、コスト低減に努めている								
	×： 入札方式や契約方法を見直していない								

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次 点検		第二次 点検	
		前年	今年	前年	今年
組織運営の健全性 点検結果計（点検項目：17項目）	◎	16	16	16	16
	○	1	1	1	1
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等						点検結果			
						第一次 点検		第二次 点検	
						前年	今年	前年	今年
評価項目	(4) 財務の健全性								
(ア) 財務環境									
① 当期利益を継続的に確保しているか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	当期損益 (千円)	12,161	4,261	1,293					
◎：十分確保している（当期を含め3年・2年連続黒字） ○：確保している（当期のみ黒字） ×：継続的に確保できていない（当期を含め赤字）									
② 累積欠損金を計上していないか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	累積損益 (千円)	69,740	74,002	74,495					
◎：累積欠損金はない ○：累積欠損金はあるが、減少傾向にある ×：累積欠損金は横ばい、または増加傾向にある									
③ 自己資本（正味財産）比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	法人設定の適正值 (%)	30以上	30以上	30以上					
	実績値 (%)	75.3	73.2	75.6					
	<適正值の考え方>								
	一般的に安全水準の目安とされている30%以上を適正值とする。								
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある									
④ 流動比率が適正で、かつ低下傾向になっていないか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	法人設定の適正值 (%)	100以上	100以上	100以上					
	実績値 (%)	358.0	338.3	389.9					
	<適正值の考え方>								
	1年以内に期限が到来する返済義務に対して支払余力がある100%以上を適正值とする。								
◎：適正で、かつ低下傾向にはない ○：適正で、かつ低下傾向にあるが、緩やかである ×：著しく低い、または近年大幅に低下する傾向にある									
⑤ 借入金割合が適正か	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	借入金割合 (%)	0.0	0.0	0.0					
	<合理的理由>								
◎：借入金はない、または横ばい、低くなっている ○：上昇傾向にあるが、合理的理由がある ×：上昇傾向にあり、適正でない									
⑥ 借入金は返済計画どおり着実に返済されているか					◎	◎	◎	◎	
◎：借入金はない、または借入金当初の返済計画どおり返済が可能									
○：当初の返済計画の見直しを行った ×：返済計画の見直しが必要である									

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果			
		第一次点検		第二次点検	
		前年	今年	前年	今年
⑦ 将来の法人運営上必要な経費などを適正に積み立てているか（退職給付引当資産、減価償却引当資産、施設建設積立金など）	◎： 適正に積み立てており、不足は生じていない ○： 一定程度積み立てているが、経営上重大な不足は生じていない ×： 積み立てていない、または経営上重大な不足が生じている	◎	◎	◎	◎
(イ) 資産運用の適正性					
⑧ 資産の運用に関する規程（管理運用に係る事務手続き、資金運用体制、資金運用に関する方針や運用基準を明確化したもの）を整備し、適正に運用しているか	◎： 規程等にもとづき、適正に運用している ○： 規程等は整備していないが、適正な運用に十分留意している ×： 不十分であり改善の余地がある	◎	◎	◎	◎
(ウ) 財務諸表の適正性					
⑨ 土地開発公社経理基準要綱を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか【地方公社】	◎： 土地開発公社経理基準要綱を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する －： （評価対象外）	－	－	－	－
⑨ 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【会社法法人】	◎： 企業会計の基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する －： （評価対象外）	◎	◎	◎	◎
⑨ 最新の公益法人会計基準（平成20年改正基準）を適用し、かつ基準に準拠した会計処理がなされているか（退職給付会計の適用、賞与・役員退職慰労引当金等所要の引当計上など）【公益法人】	◎： 最新の公益法人会計基準を適用し、かつ適正な会計処理がなされている ×： 不十分であり改善を要する －： （評価対象外）	－	－	－	－
⑩ 「経理事務精通者による監事への就任」、「経理事務精通者による経理指導・相談体制の構築」、「外部監査制度の導入」により計算書類等の適正化に努めているか	◎： 2つ以上に対応している ○： 1つに対応している ×： いずれにも対応していない	◎	◎	◎	◎

財務の健全性 点検結果計（点検項目：10項目）	◎	10	10	10	10
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等		点検結果				
		第一次 点検		第二次 点検		
		前年	今年	前年	今年	
評価項目	(５) 透明性					
(ア) 情報公開に関する取組						
① 情報公開に関する規程を整備し、かつ公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 規程等を整備し、公表している ○： 規程等を整備しているが公表していない ×： 策定（検討）中、又は策定予定なし						
② 事業報告や決算報告等は、自ら積極的に公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 関係法令等で定められている以上の項目も公表している ○： 関係法令等で定められている項目のみ公表している ×： 関係法令等で定められている項目の一部のみを公表している						
③ 公表にあたっては、解説や補足説明を付すなどして市民に分かりやすい公表に努めているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である						
④ 公表している事業報告や決算報告等は、法人事務所及び市所管課に備え置くほか、インターネット（HP）も活用して公表しているか		◎	◎	◎	◎	
◎： インターネット（HP）を活用して公表している ○： インターネット（HP）による公表を今期予定している ×： インターネット（HP）による公表を検討中、または予定なし						
⑤ 第三セクターとして市民ニーズに応じた、ディスクロージャー（情報公開）及びアカウンタビリティ（説明責任）に努めているか		◎	◎	◎	◎	
◎： 十分努めている ○： 十分ではないが、ある程度努めている ×： 取組が不十分である						

透明性 点検結果計（点検項目：5項目）	◎	5	5	5	5
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0

具 体 的 点 検 項 目 等					点検結果				
					第一次 点検		第二次 点検		
					前年	今年	前年	今年	
評価項目	(6) 自立性								
(ア) 経営に対する市の関与									
① 市からの収入（競争によらないもの）割合は上昇傾向になっていないか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	市からの収入（競争によらないもの）割合（％）	0.0	0.0	0.0					
	<合理的理由>								
◎： 市からの収入（競争によらないもの）はない、または割合は低下傾向にある ○： 割合は横ばいである、または割合は上昇傾向にあるが合理的な理由がある ×： 割合は上昇傾向にある									
② 自主財源の確保に向けた取組を実施し、かつその成果は向上しているか	点検指標名	R元年度	R2年度	R3年度	◎	◎	◎	◎	
	こみせ横丁売上高	126,616	98,078	95,433					
	道草庵売上高	38,685	28,997	33,077					
	<取組事例の主なもの>								
	こみせ横丁や道草庵の運営により、自主財源の確保において成果をあげている。新型コロナウイルス前と比べ売上高は減少しているが、道草庵の新メニュー開発など売上増加対策に取り組んでいる。								
◎： 積極的に取り組んでおり、一定の成果をあげている ○： 積極的に取り組んでいるものの、成果にはつながっていない ×： 取り組んでいない									
③ 補助金については、対象とする事業の公益性を十分に勘案するとともに、その成果等を的確に評価することにより見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎	
◎： 補助金はない、または成果等を的確に評価し、見直しを図っている ×： 不十分であり改善を要する									
④ 委託料等については、市として期待する成果をあらかじめ明確にするとともに、額の算定にあたっては、類似民間事業者とも比較・検証し、見直しを図っているか					◎	◎	◎	◎	
◎： 委託料等はない、または毎年度検証し、見直しを図っている ×： 不十分であり改善を要する									
⑤ 市職員の派遣にあたっては、派遣目的・職務・人数・期間等に関する必要性を明確にするとともに、必要最小限に止めているか					◎	◎	◎	◎	
◎： 市職員の派遣はない、または十分留意し、必要最小限に努めている ×： 不十分であり改善を要する									
⑥ 役員の選任にあたっては、職務権限や責任にふさわしい人材や、民間の経営ノウハウを有した人材などの登用に努めているか					◎	◎	◎	◎	
◎： 必要に応じて積極的に民間登用に努めている ×： 市職員兼務、市職員OBが大半を占めている									
⑦ 市所管課からの指導等や第三セクター経営評価委員会からの提言等について積極的に対応しているか	取組事例の主なもの				◎	◎	◎	◎	
	*経費節減、当期純利益の確保 *新型コロナウイルス関連助成金の活用								
◎： 十分に対応している ○： 十分に対応している項目が多い ×： 十分に対応していない									

自立性 点検結果計（点検項目：7項目）	◎	7	7	7	7
	○	0	0	0	0
	×	0	0	0	0